

## 津沢地区 意見交換概要

日時 令和4年7月6日(水)19:30~20:57

場所 津沢コミュニティプラザ

出席 24名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	私は、もう少しで高齢者となる。歩行する高齢者・障害者に対する交通安全対策をお願いする。	弱者に手を差し伸べるということは、政治の原点であるので、交通弱者の方や障害者の方にしっかりと手を差し伸べ、寄り添った政策を進めたい。「ここが歩きにくい」と具体的にお聞かせいただければ、現場を見て対応する。
2	平成25年の女性議会の時に、津沢の買物難民について質問をした。本年、2か所のショッピングセンターが誘致され、とても喜んでいる。	スーパーのみならずドラッグストアにもターゲットを絞り、チームを組んで、誘致活動に取り組んでいたが、商圈人口が少ないと言われていた。ようやく1つ漕ぎ着けて良かったと思っていたところ、また1つ来るといふことで、ほっとしている。
3	「津沢あんどんふれあい会館」は、この2年間、来館者が多く今年のアンドン祭りでは2,500名の来館があった。「こんなところがあるとは知らなかった」「PRが下手だ」と言われる。	コロナ禍であってもたくさんの方に来ていただいた。私どもがアピール下手だということは、このタウンミーティングを開始してから、他地区でも同じように言われている。現在、シティプロモーション事業でどのような見せ方が、インパクトを与えられるかと課内で協議している。
4	クロスランドタワーが日時計になっていることや、駐車場にダ・ビンチの絵が描かれていることなど、市民は知らないと思う。2025年にクロスランドタワーが閉館し、解体されると聞いている。空中カフェなど人気があるところなので、今後どうしていくのか。	クロスランドタワーの解体はしない。タワーの周辺はよく雷が落ち、その落雷でエレベーターに障害が起きるといふことが問題となっていた。現在は、メーカーが制御盤を作るようになったので、現状のままで大丈夫である。施設そのものは、あと30年は大丈夫である。シティプロモーションという形で施策を打っているのだから、ご期待いただきたい。
5	若い家族の定住について、公園・地域医療・出産施設・就学前の施設についての満足度が低いことが、原因ではないか。福祉の充実や子育てに関する政策の見直しなど、どうお考えか。	これだけ少子化が進むと、手厚い支援をしなければ、若いお母さん方に定住していただけないことになるので、子供を真ん中にした政策をしなければ、都市間競争に負けてしまうと思っている。何か特徴を出すには、子育て、教育関係だと思っている。授業力の向上ということについては、子供たちが勉強しやすい環境を作るといふことで、県内で先駆けてクーラーを設置した。

No.	発言要旨	市長回答要旨
6	小矢部市出身者にふるさと納税をもっとアピールし、自主財源を増やしてはどうか。	自主財源を増やすためには、企業誘致で法人税や固定資産税を増やすか、今、一番各自治体が力を入れているふるさと納税になる。市もポータルサイトを増やしたり、返礼品を充実させたりと、ようやくこの2年間で、3,000万円となったが、まだまだ追いつかないという実態である。小矢部会、近畿小矢部会にもふるさと納税をお願いしている。また、企業版ふるさと納税というのがあり、何千万単位で納税いただいているところもある。しっかりと取り組んでいきたい。
7	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映で、義仲・巴の大河ドラマ化は一区切りついたのではないか。小矢部市には大谷さんという素晴らしい方がいる。大谷さんを題材とした朝ドラなどを働きかけてはどうか。	大河ドラマ誘致活動は、足掛け13年になり、NHKに足を運んだのは、数えきれないくらいである。なかなか成立しないのは、平安末期が複雑で視聴者受けしないということや、資料が残っていないことがあるようだ。大谷さんについては、NHKの朝ドラに取り上げていただけないかという話もさせていただいているほか、民放にも声をかけているところである。